



# ふるさと納税日本一！ 菅内閣官房長官が現地 視察のため、本市を訪問！

平成28年6月に総務省から発表された平成27年度（平成27年4月～28年3月）のふるさと納税実績で寄附額約42億3千万円、件数約28万8千件で共に日本一となった本市。平成27年（1月～12月）も寄附額35億円で日本一に輝いていて、全国から熱い注目を集めています。

◎問い合わせ 総合政策課 ☎23-2115

※ふるさとチョイス調べ

## 菅内閣官房長官の視察の目的

ふるさと納税制度の発案者である菅義偉内閣官房長官が6月15日、ふるさと納税の現場を直接、その目で確認するため、慌ただししい公務の合間を縫って、本市を訪問されました。

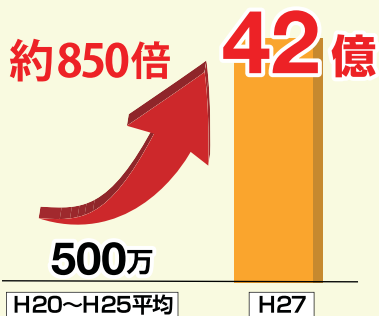
池田市長は、ふるさと納税の寄附者が大幅に増えたことで、市の認知度がアップしていることを説明。雇用創出や設備投資の増加など地場産業への波及効果、本市財源の確保、お客様意識などが養われることによる職員の意識改革といった、いわば「一石四鳥」の事業効果を説明しました。

また、池田市長は、子育て支援など、その活用の意義についても言及。市外の皆さんから寄せられた支援が、本市が取り組むさまざまな事業の財源となっていることを説明しました。

## 職員が語る成果とやりがい

そのほか、菅内閣官房長官は事業への関わり方や成果などを質問。それに対し担当職員は、「苦勞も多いが、ふるさと納税日本一を獲得できたことで、都城の魅力を全国に発信できた。この取り組みに、とてもやりがいを感じている」と答えました。

ふるさと納税寄附金額が急増！！



ふるさと納税  
寄附金額  
(平成27年度)

全国1位  
(42億3,123万円)

日本一獲得までの歩みとこれから

平成26年10月、市のPRツールとして、全面リニューアルした本市のふるさと納税。寄附者に贈る返礼品を、自慢の「肉と焼酎」に特化したことで、その魅力を大幅に強化。さらに、インターネットを利用し、寄附のしやすい環境も整備しました。

現在、返礼品を提供する協力事業者は55事業者。牛肉・豚肉・鶏肉や、焼酎の品ぞろえをより一層充実させながら、本市産のお茶や米、乳製品、マンゴー、家具なども返礼品に組み入れ、地域経済へのさらなる波及効果の拡大にも力を注いでいます。

ふるさと納税を支える協議会

平成28年3月、寄附者への返礼品を提供する市内の協力事業者が集まり、「ふるさと納税振興協議会」を組織。寄附者のより一層の満足度向上を目的に、市と連携しながら、積極的なPR活動を行うなど、さまざまな取り組みを展開しています。

また、4月に発生した平成28年熊本地震で被災した地域に義援金を送るなどの社会貢献活動も行っています。

※協議会の活動状況は、フェイスブックページで紹介しています



寄附金は、あなたの身近なところで生かされています

寄附者の希望に沿って、さまざまな事業に寄附金が生かされています。

例えば、「こども支援」として、放課後児童クラブ5カ所と子育て支援センター2カ所を増設したほか、中学生の海外交流事業を10年ぶりに再開。また、「人口減少対策支援」として不妊治療費の助成や、「ふるさと支援」として、マイナンバーカードを利用した、各種証明書のコンビニ交付サービスなどの財源として活用します。





さらに輝きを増す都城の「3つの宝」

# 次世代を担う子どもたち



市では、本市の持つ「3つの宝」を輝かせるための取り組みを進めてきました。3回シリーズの最終回となる今回は、3つ目の宝「次世代を担う子どもたち」を輝かせるための取り組みと、その他特色のある取り組みの成果について紹介します。

◎問い合わせ 秘書広報課 ☎23-3174

さらに輝きを増す都城の「3つの宝」

都城の「地の利」

基幹産業である農林畜産業

次世代を担う子どもたち

「次世代を担う子どもたち」を輝かせる取り組み

市では、未来の都城を担う子どもたちを育成するため、「学力の向上」と併せて、スポーツ・文化活動や郷土教育などを通じた「人間力育成」に取り組んでいます。また、世界に羽ばたく人材を育成するため、英語教育の充実にも積極的に取り組んでいます。また、市内全ての小中学校に学校運営協議会を設置。地域に開かれた学校「コミュニティ・スクール」の実現に向けた取り組みを進めています。そして、郷土愛にあふれた子どもを育てるため、地域の祭

## 第3の宝～次世代を担う子どもたち

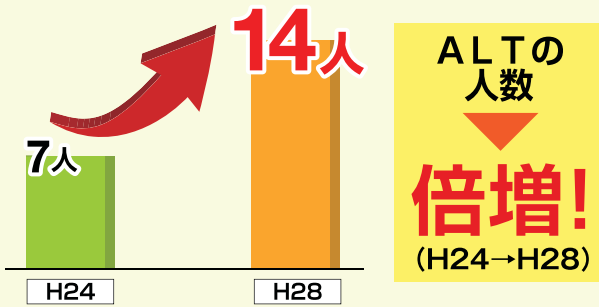
- 学習面でのさらなる充実
- スポーツ・文化活動や郷土教育・地域教育などを通しての「人間力育成」

# 人財創出都市

りや行事への参加を促しています。この他、子どもたちが安心して学習できる環境を整備するために、小中学校施設の耐震補強工事を実施。年次の整備計画を前倒しして、平成27年度末までに市内全ての小中学校の耐震補強工事が完了しました。併せて、健康な体と豊かな心を育むことを目的に、スポーツや文化活動の施設整備も実施。本年5月には、高城運動公園屋内練習場が完成しました。市では、これらの事業を通して、次世代を担う子どもたちを輝かせるための取り組みを、着実に進めています。



### 語学指導を充実!



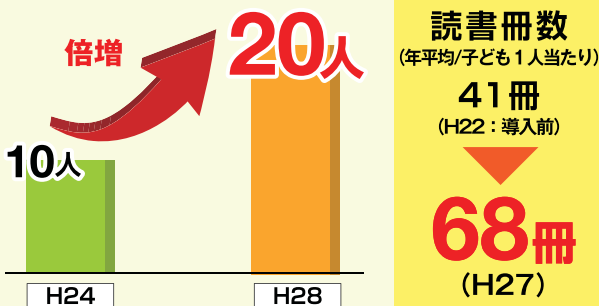
子どもたちの語学力の向上のため、年次的に外国語指導助手（ALT）を増員。語学指導を通して、語学力の向上と国際感覚を身に付ける機会が拡大しました。

また、平成28年8月、市内の中学生をオーストラリアの中学校に派遣し、9月にはオーストラリアの中学生を受け入れる海外交流事業も実施します。

これらの取り組みによって、子どもたちが、他国の文化に触れる機会を創出し、国際感覚豊かな人材になるよう支援しています。

語学力の向上と  
国際感覚の醸成

### 小学校図書館サポーターを増員!



人間力の育成のために、子どもたちが読書に親しみやすい環境を整備。市内全ての小中学校図書室に空調設備を整備しています。平成27年度には市内全ての小学校で整備が完了し、中学校においても平成28年度に整備が完了する予定です。

また、読書に親しむ環境の整備と併せて、小学校図書館サポーターを増員。その結果、児童一人当たりの読書冊数が、図書館サポーター導入前の41冊から、平成27年度には68冊に増加しました。

読書に親しむ環境の整備

### みやこんじょ弁ラジオ体操第1の製作



NHK夏期巡回ラジオ体操  
(平成27年7月25日)

市民に笑顔を!  
子どもに方言を!  
CD 無料配布  
9,200枚

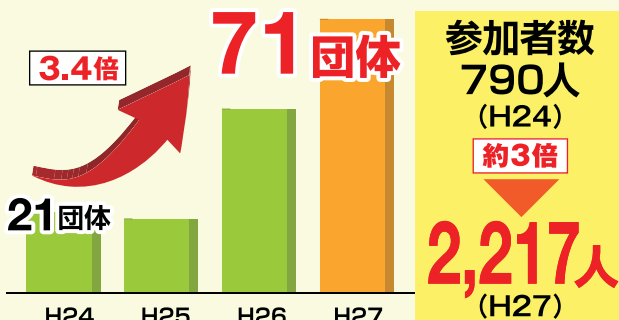
昨年1月に「みやこんじょ弁ラジオ体操第1」を製作。運動会などの学校行事や、地域の祭りなどで利用してもらい、子どもたちが方言に触れる機会をつくりました。おもしろおかしい言い回しで子どもたちも興味を持ち、郷土愛の醸成に役立っています。

また、無料でラジオ体操のCDを配布。当初予定していた枚数は、600枚ほどでしたが、現在までに約9200枚を配布しました。

市民の皆さんはもちろん、都城出身の市外の人たちにも好評です。

郷土愛の醸成

### 合宿団体数、参加者数ともに急増!



5月にオープンした高城運動公園屋内練習場や、現在整備中の早水公園サブアリーナなどの大型体育施設の整備により、合宿地としての本市の魅力がますます高まるとともに、子どもたちがさまざまなスポーツに触れる機会を増やしていきます。

その他特色ある取り組み  
スポーツ・文化合宿の増加

スポーツや文化活動で、市外から合宿に訪れる団体への補助金の拡充などを実施。その結果、平成24年度に21団体であった合宿数が平成27年度は71団体にまで増え、参加者数も約3倍に増えています。

その他特色ある取り組み  
スポーツ・文化合宿の増加